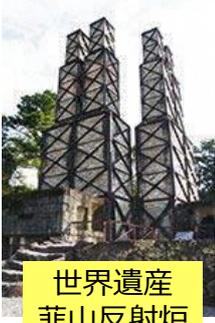


# 静岡県における「社会健康医学」の推進



世界文化遺産  
富士山



ユネスコ登録  
南アルプス



世界農業遺産  
茶草場農法



世界ジオパーク  
伊豆半島



唐奨  
本庶 佑



ノーベル賞  
天野 浩



ワールドカップ会場  
エコパスタジアム

## 静岡県の現状（健康寿命）

○ 静岡県は男女ともに健康寿命が常にトップクラス

### 男性

(歳)

順位	平成22、25、28年平均	
1	山梨	72.31
<b>2</b>	<b>静岡</b>	<b>72.15</b>
2	愛知	72.15

### 女性

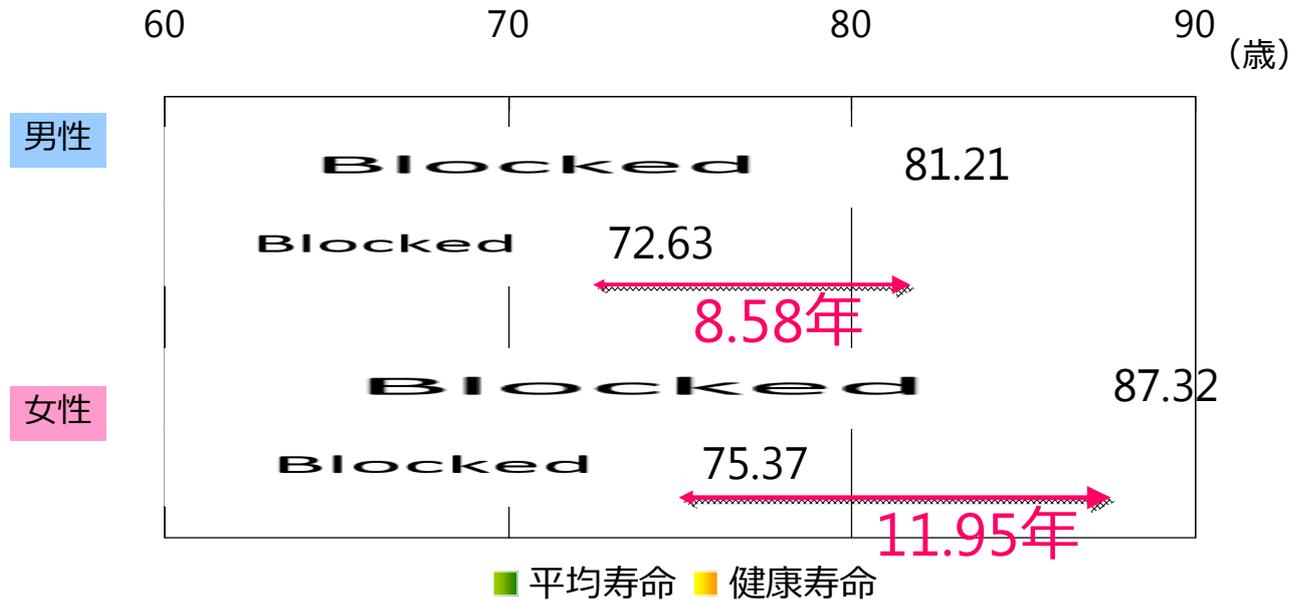
(歳)

順位	平成22、25、28年平均	
1	山梨	75.49
<b>2</b>	<b>静岡</b>	<b>75.43</b>
3	愛知	74.48

※ 愛知県とは同率2位

## 静岡県健康寿命と平均寿命

○ 平均寿命と健康寿命の差は、男性で約8年半、女性で約12年  
(平成28年 静岡県)



出典：健康寿命 厚生労働省 健康日本21（第二次）推進専門委員会資料  
平均寿命 厚生労働科学研究班の計算式、総務省推計人口、厚生労働省人口動態統計資料を用いて、静岡県で独自に算出

3

## 社会健康医学の視点に着目

○さらなる健康寿命の延伸を目指すため、社会健康医学の視点に着目

健康寿命の更なる延伸を図るために

- ・ これまでの健康長寿に向けた取組を体系化
- ・ 科学的視点を取り入れた効果的な健康長寿の取組の推進

社会健康医学の視点を取り入れた施策の推進により、更なる健康寿命の更なる延伸を図る

“社会健康医学”とは  
直接、病気の治療を研究する分野ではなく、病気を予防する 又は 病気にならないような地域・環境を研究する総合的かつ新たな学問分野

4

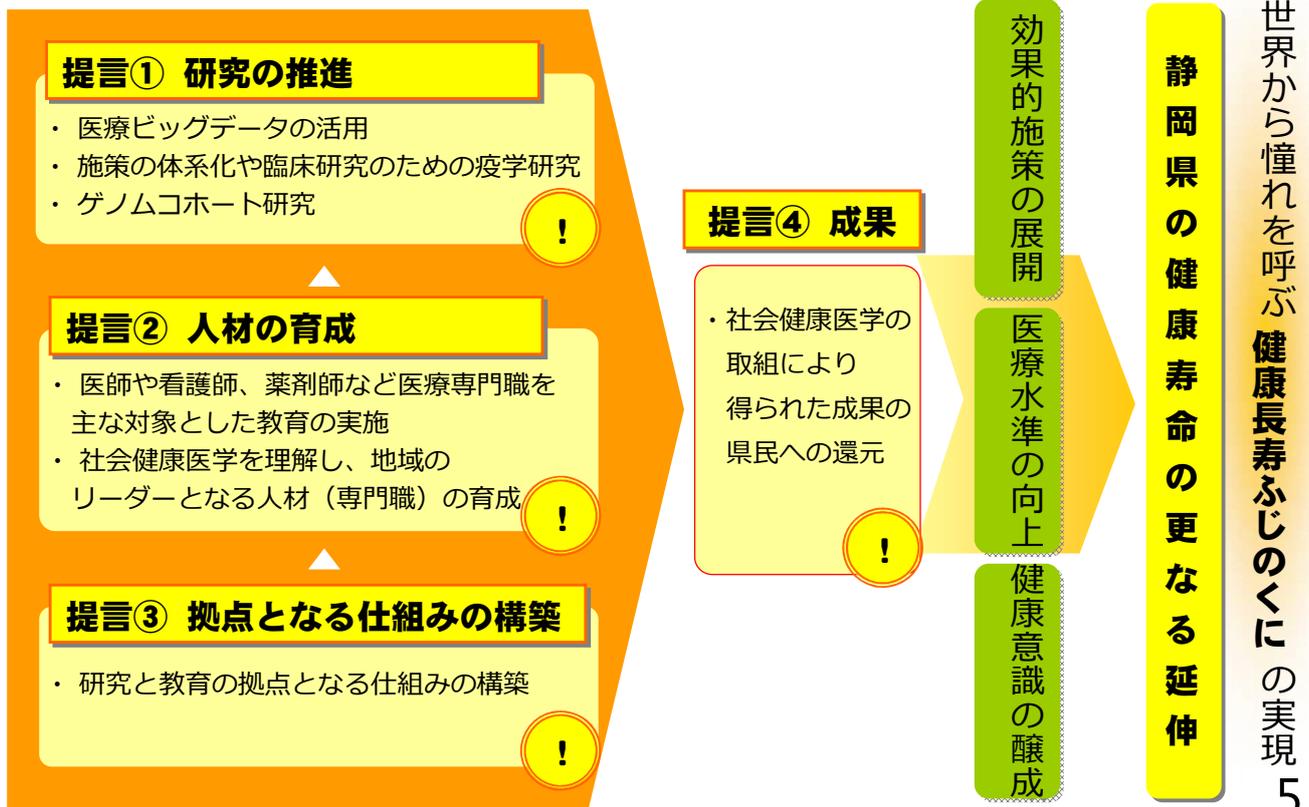
## 健康寿命の延伸に向けた提言～社会健康医学の研究推進～

○ 静岡県が推進すべき4つの提言により、健康寿命の更なる延伸を図る。

社会健康医学に着目した取組

期待される成果

目標



## 「社会健康医学」基本計画策定委員会

○ 健康寿命延伸のための研究内容や人材育成の方法等について検討

- |      |       |   |               |
|------|-------|---|---------------|
| ○ 本席 | 佑     | 京都大学高等研究院特別教授   | ○委員長、50音順、敬称略 |
|      | 鬼頭 宏  | 静岡県立大学学長  |               |
|      | 佐古 伊康 | しずおか健康長寿財団理事長   |               |
|      | 田中 一成 | 静岡県立病院機構理事長   |               |
|      | 鶴田 憲一 | 全国衛生部長会会長（静岡県理事(医療衛生担当)）  |               |
|      | 徳永 宏司 | 静岡県医師会副会長   |               |
|      | 中山 健夫 | 京都大学大学院医学研究科副研究科長<br>社会健康医学系専攻長・健康情報学分野教授   |               |
|      | 宮田 裕章 | 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授<br>東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座特任教授<br>国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター<br>国際保健システム・イノベーション研究科研究科長 |               |
|      | 宮地 良樹 | 滋賀県立総合病院総長（京都大学名誉教授）  |               |
|      | 望月 律子 | 静岡県訪問看護ステーション協議会会長  |               |
|      | 山本 清二 | 浜松医科大学理事（教育・産学連携担当）   | ・副学長          |
|      | 山本 敏博 | 静岡県社会福祉法人経営者協議会会長   |               |